

人の心を感じ、眞の友情へ

～災害や歴史から学ぶもの～

1年生の生活も残すところ、2か月となりました。皆をもうすぐ後輩たちが入学してきますね。1年生の「自律」と「自ら考える姿」を見ると頼もんがして、喜ばしく思います。

月まい 9けも く國な 困大のけ
地震、受と と日本は、をるいけ
地害を国す。こ。ら感のまき
島被害大ます。かをり生き
半な災て諦よ族しい神では生き
登大はつにし民族悲思精神人です。
能基本負びでたや、の一人です。
し町、くるな長し像合人いくも
生登め、起れとのを助していく
発能じりスこはに苦想けてい
にるはのが それとのを助していく
にるはのが それとのを助していく
日あを害害。るの強そ。生き
1月市震然はま生。人らうつ
1都大自日本いてます。たかよ合
昨年妹日本日本てつます。たかよ合
きて、と東多し、げ合え越きで支
昨姉日本日本く、げ合え越きで支
き豪雨した。れ、かを助と乗してい
し興がかをにせん。支
復民い難切でま
わ

責任です。くづく・運
律最後に暖仲間とし
うえ～間味よ合
生仲意のりす。
託もを族語ま
蓮てと家でい
「悪るえ本し
一くこ、音して
ママもす越、待
てく行乗合を期
た良にをめとこ
えが緒壁認こ
考結果一のをる
で結果、達方な
さんはし、友えと
み～共スな一
感命ク多
りのラ様の

皆さん一人ひとりが自律し、そのためには責任を持つ
つなることを願っています。

前川 秀幸